

Q ドライバーは飛距離が伸びたが、アイアンではスライスしてしまう

おかげさまで飛距離はかなり伸びるようになりました。ドライバーは要領がつかめたように思いますが、同じ感覚でスプーンやロングアイアンを打つと極端なスライスが出ます。打ち方を変えてスウェーを抑えて打つと上手くいきます。ドライバーとそれ以外のクラブでは打ち方はかなり変えるということでしょうか。

A

“ゴルフスウィングは1つである”と考えたほうが、ゴルフはシンプルになりますが、厳密に言うとスウィングイメージを変えたほうが簡単になります。ご質問では、ドライバーは上手く打てるのにフェアウェイウッドやロングアイアンだとスライスしてしまうということですが、同じスウィングをした場合、クラブによってフェースの運動量に違いがあるので、同じ球筋にならないことがあります。

例えば、最近のドライバーは、構造的にミスショットを補い、スライスが出にくい作りになっているのに対して、フェアウェイウッドやロングアイアンは、ドライバーに比べるとヘッド面積が小さいため、失敗が如実に表れます。また、ドライバーの場合、シャフトが長い分、インパクトに向けてクラブヘッドがややゆっくりと閉じていくため、タイミングも取りやすいのに対して、フェアウェイウッドやロングアイアンはシャフトが少し短くなり打点が小さくなるため、コンパクトで確実なヒットが必要です。

よって、フェアウェイウッドやアイアンを打つ時は、ドライバーのスウィングを短時間で行なうイメージでコンパクトなスウィングを心がけ、インパクトではドライバー以上に積極的にフェースを閉じる動きを意識するとよいでしょう。